

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和6年5月23日(木) 午後2時

閉 会 年 月 日

令和6年5月23日(木) 午後2時27分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教 育 長 小 林 良 江

教育長職務
代 理 者 神 宮 嘉 一

委 員 田 野 内 明 美

委 員 塩 野 有 希

委 員 新 井 英 夫

事 務 局 (説明員)

教育部長 青 柳 正 典

公民館担当部長 川 嶋 昭 人

学校教育担当部長 依 田 哲 夫

教育総務課長 宮 澤 信 宏

社会教育課長 茂 原 久 美 子

文化財保護課長 角 田 真 也

中央公民館長 山 口 順 子

中央図書館次長 齊 藤 寛 方

教職員課長 岡 田 朝 夫

学校教育課長 松 村 久 美

健康教育課長 亀 山 理 映

教育センター所長 小 池 芳 典

高崎経済大学附属高等学校事務長 新 井 史 代

書記 教育総務課 清 水 雅 仁

5月23日	会議に附した事件
議案第10号	令和6年度高崎市一般会計補正予算（6月議会提出分）教育費見積書の提出について

高崎市教育委員会 5月定例会会議録

教育長（小林良江）

これより、高崎市教育委員会5月定例会を開会いたします。

それでは、議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第1 会期の決定といたしまして、会期は、本日1日といたします。

日程第2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、神宮教育長職務代理者と新井委員を指名させていただきます。よろしくお願いたします。

日程第3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（小林良江）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第10号「令和6年度高崎市一般会計補正予算（6月議会提出分）教育費見積書の提出について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（宮澤 教育総務課長 から秘密会の申し入れ）

教育長（小林良江）

ただいま事務局より秘密会の申し入れがございましたので、議案第10号の審議を秘密会とすることでご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

ご異議ないようですので、秘密会といたします。

（秘密会）

教育長（小林良江）

それでは、秘密会による審議を終了いたします。

教育長（小林良江）

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局から、その他の報告等はございますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長（小林良江）

次に、委員の皆様から、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

教育長職務代理人（神宮嘉一）

先日、県外の大学を見る機会がありまして、学生にキャンパスを案内していただきました。自分達の視点とは違った案内の仕方をしてくれて、非常に興味深かったです。その中で、案内してくれた方が「ここにコンセントが用意してあります」と、何度か口にされました。どういうことだろうと最初は思いました。要は、充実した学生生活を送るうえで、スマホやタブレット、パソコンを持っての授業は当然の世代なので、そういうものがマストアイテムとしてあるのだと思います。そうするとWi-Fiはもちろん、フリーアクセスできる場所が当然あります。ついては、たくさん電力消費をするので、充電するのにコンセントが欲しいということのようです。

そうすると、果たして電気代はどうなのだろうと思いました。以前、携帯電話が爆発的に普及した頃に、いわゆる「盗電」というワードが出た時期がありましたが、そんなにかかるとは思いませんでした。仮に高崎市の児童生徒がタブレットを1日1回学校で充電すると、ある指標だと、年間300円くらいです。全体から見ると、そんなに目くじらを立てるほどの金額ではないと思いました。ただ、他の自治体の教育委員会では、子供達にタブレットを持たせるにあたって「電気代はご家庭の負担です」と、通知文を出したところ、けっこうクレームが入ったという過去のニュースがあったようです。高崎市では、そういう電子機器を使うにあたり、クレームというのはあるのでしょうか。

学校教育課長（松村久美）

学校で充電したり、持ち帰って家庭で充電したり様々ですが、そのような電気代に対するご意見は聞いておりません。

教育長職務代理人（神宮嘉一）

また別件ですが、昨日、徒歩で通勤した時間があり、地元の女子中学生とすれ違ひまして、目が合いました。そうしたら、立ち止まるまではいかないのですが、「こんにちは」と頭を下げ、お辞儀をされました。正直、嬉しいサプライズで、なんとなく安らぐような場面でした。おそらく日頃の学校での教育の賜物の1つかなと思えました。非常に良い場面だったと思えます。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（田野内明美）

ここ何年も、暑さが前倒しになってきていて、早めに制服の衣替えと言うか、半袖の軽い服装にしていかないと、体調を崩す生徒も出てくると思います。夏服だけではなくて冬服もそうなのですが、制服を替えるタイミングというのは、学校内のエアコンの使用によるのでしょうか。どういうタイミングで行っているのでしょうか。

教育総務課長（宮澤信宏）

エアコンの使用という観点で、説明させていただきます。基本的には、夏場は6月からを想定して、28℃以上になると使ってくださいという通知を送っています。近年、暑さが前倒しになっていますので、それにとらわれず、気温が上がっていれば使用してくださいと伝えております。例えば体育館の空調もそうですし、教室の空調も学校の判

断でやっていただいております。

委員（田野内明美）

制服のほうは、いかがですか。

学校教育課（松村久美）

教育委員会として、この時期と決めてやっていることではないので、各学校の判断ですけれども、近年、体育着や制服だとか、いろいろなことが柔軟になってきています。機能的に、あと個に応じたとか、生徒、保護者の方からの相談に応じて、学校は柔軟に対応しております。

委員（田野内明美）

体操着で来てても良いという時期とか、ポロシャツになっているとか、たぶん学校ごとだと思います。地域によっても違うと思うので、柔軟に対応していただければと思います。

委員（田野内明美）

また、今朝のことなのですが、北高崎駅の近くで、10人くらい蛍光のユニフォームを着た警察官の方々がたくさん出ていました。何をしているのかと思ったら、A3以上の大きなパネルを持っていて、そこに何か書いてあるので見てみたら、「ヘルメットをかぶりましょう」とありました。いろいろとパネルを持っている人達がいて、他にも「自転車も止まれ」や「自転車は左側通行」とか、「ナイス、ヘルメット」と書いてあり、団体を動いていたのが目立っていました。たぶん、あの辺りは、高校生もたくさん通っていますけど、皆パネルを見ているな、という感じがしました。かなり派手目な自転車事故防止の活動だったので、ドライバーも関心を持って見ていました。生徒も「かぶらなきゃ」とか、「気を付けなきゃ」とか、そういう気持ちになったのではないかと思います。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（塩野有希）

昨日、いじめ防止対策担当教諭の研修の中で、性的いじめに対する研修をさせていただきました。研修の準備をするために、いろいろと調べたりした中で、知らないことがたくさんあったのと、私自身の勉強にもなりまして、このような機会をいただいて、たいへんありがたかったと思っております。

その準備の段階で情報収集をしていた時に、知り合いの方から、「小学生の子どもから急に性に関する質問をされて答えに詰まってしまった」という話を聞きました。おそらく学校で性教育に関するような授業があったのだと思うのですが、その方も学校での性教育は必要だと思っていたし、何らかの形で授業をしているのかなと思ってはいたけれども、不意に言われて、すごくびっくりして、答えに詰まってしまったということのようです。

私自身も、自分の子供が、どのタイミングでその授業を受けてきているのか把握して

いませんでしたし、それを聞いて、私もすごく考えさせられました。その後、少し調べましたら、文部科学省のホームページに「命の安全教育」というページがあって、そこに、年代別の教材の他に、保護者への案内のひな型がありました。性教育というのは、先生も保護者も敏感になりやすい授業だと思うのですが、そういう授業の前には、保護者向けに簡単な案内があったら、親としての心構えができて良いのではと思いました。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（新井英夫）

エピペンについて、お聞きしたいことがあります。一昨日、高崎市で行っているファミリーサポートの会議がありました。保護者の方がいろいろな理由で、お子さんの面倒を見ることができない時に、それを支援するシステムです。そこで支援会員になるために、小児科の講義を受けることになっています。それを私が担当してまして、2時間くらい小児の疾患などの講義をしています。食物アレルギーでアナフィラキシーショックを起こした時のエピペンの使用方法もその中で話をしています。

エピペンというのは、昭和60年頃に開発されました。元々、営林署で蜂に刺されて死亡する方が多かったことから、営林署の方に各自持たせて、蜂に刺されたら自分で注射するということが行われるようになりました。そして、死亡者が激減する事実がありました。これを食物アレルギーに応用できないかということで、アナフィラキシーに対しても使われるようになりました。最初は医師だけが使える仕組みだったのですが、その後いろいろな経緯がありまして、これは緊急を要する件なので、かなりの方が打てないといけないということで、保護者、教職員、救急救命士が打てるような体系になりました。

そこで、高崎市では、エピペンを扱うためにどういった体制をとられているのかお聞きしたいです。

健康教育課長（亀山理映）

公立の幼稚園には、養護教諭がないものですから、保健主事という者がいます。健康教育課の養護の指導主事が、年に1回、必ず公立の幼稚園の保健主事向けに研修を行っています。そこで、緊急の対応の仕方や、エピペンの使い方も研修しています。小中学校に関しては、毎年、エピペンの使い方を、教職員の救命救急の時に合わせて行っていると思います。また、健康教育課に貸し出しできる練習用のエピペンが用意してありますので、学校が借りたいという時には貸し出せる体制をとっています。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

教育長職務代理者（神宮嘉一）

学校では、課外授業をやられると思うのですがけれども、例えば榛名の林間学校、春の遠足、マラソン大会等、そういった時の対応というのはできるようになっているのですか。

健康教育課長（亀山理映）

林間学校につきましては、学校の養護教諭が一緒についていくことが多いです。その際には、アレルギー対応だったら、給食が向こうでも出ますので、その対応等について保護者と細かく事前の打ち合わせは行っています。遠足等については、養護教諭はついていかないことが多いですが、その際にも、担任と保護者で対応できるような形として、必ず救急バッグを持っていくようにしております。

教育長職務代理人（神宮嘉一）

その中にエピペンは入っているのですか。

健康教育課長（亀山理映）

エピペンを使う子どもがいれば、持っていくこともあると思います。

教育長（小林良江）

事前にアレルギー体質があるとわかっているならば、エピペンの用意はあるのかと思います。全くそういうことがない場合までエピペンを持参するのは、難しいかと思います。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。ないようですので、以上をもちまして、教育委員会5月定例会を閉会させていただきます。

本日は大変ご苦勞様でした。